

感染性胃腸炎の流行に備えましょう



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 8	7	百日咳	→ 1	1
RSウイルス感染症	↘ 97	150	ヘルパンギーナ	↘ 29	38
咽頭結膜熱	↗ 15	11	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	↘ 103	122
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	↘ 42	74	急性出血性結膜炎	↘ 0	1
感染性胃腸炎	↘ 378	399	流行性角結膜炎 (はやり目)	↘ 19	26
水痘	↘ 12	22	細菌性髄膜炎	↘ 0	3
手足口病	↘ 104	116	無菌性髄膜炎	↗ 2	1
伝染性紅斑 (りんご病)	↘ 5	7	マイコプラズマ肺炎	↘ 5	12
突発性発疹	↗ 30	26	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	→ 0	0

報告が多い
感染症

- ☀ 感染性胃腸炎
- ☀ 手足口病
- ☀ 流行性耳下腺炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

感染性胃腸炎 : 菊池
流行性耳下腺炎 : 八代

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性レ ンサ球菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	ヘルパ ンギーナ	流行性 耳下腺炎	急性 出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)
1 熊本市保健所	0	24	8	25	75	1	48	1	10	0	7	14	0	17	0	2	3	0	0
2 山鹿保健所	0	1	0	0	29	1	0	0	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
3 菊池保健所	0	21	3	5	127	3	12	1	7	1	8	28	0	2	0	0	0	0	0
4 阿蘇保健所	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 御船保健所	0	0	0	2	19	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
6 八代保健所	0	9	1	0	27	0	13	0	3	0	2	29	0	0	0	0	0	0	0
7 水俣保健所	0	9	0	0	0	0	2	0	3	0	2	1	0	0	0	0	2	0	0
8 人吉保健所	1	0	1	0	15	5	0	0	1	0	1	8	0	0	0	0	0	0	0
9 有明保健所	7	24	1	4	44	2	12	2	1	0	1	11	0	0	0	0	0	0	0
10 宇城保健所	0	5	0	5	36	0	5	1	2	0	2	6	0	0	0	0	0	0	0
11 天草保健所	0	4	1	1	4	0	10	0	1	0	5	3	0	0	0	0	0	0	0
計	8	97	15	42	378	12	104	5	30	1	29	103	0	19	0	2	5	0	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点年齢区分	合計	0-5 カ月	6-11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ	8	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0
小児科定点年齢区分	合計	0-5 カ月	6-11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上						
RSウイルス感染症	97	12	30	32	15	6	2	0	0	0	0	0	0	0							
咽頭結膜熱	15	0	2	8	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	0	0	0	0	6	6	5	4	5	4	1	10	0	1						
感染性胃腸炎	378	4	16	44	49	39	34	25	28	20	28	17	34	13	27						
水痘	12	0	1	2	4	0	1	1	1	2	0	0	0	0							
手足口病	104	2	18	39	21	10	4	2	2	1	2	0	2	0	1						
伝染性紅斑	5	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0							
突発性発疹	30	1	12	14	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
百日咳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0							
ヘルパンギーナ	29	0	3	11	4	3	3	2	1	1	1	0	0	0							
流行性耳下腺炎	103	0	0	4	11	19	11	22	16	11	3	2	3	0	1						
眼科定点年齢区分	合計	0-5 カ月	6-11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	19	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6	7	1	2	1	0	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	5	0	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

感染性胃腸炎の流行に備えましょう

冬場に流行する感染性胃腸炎の原因の多くは、ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスによるものです。特にノロウイルスは感染力が強く、少量でも発症するのが特徴です。ノロウイルスによる感染性胃腸炎はヒトからヒトへの感染と、汚染した食品を介しておける食中毒に分けられます。感染から発症までの期間は24~48時間で、主な症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、微熱です。通常、これらの症状が1~2日間続いた後に治癒しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化することがありますので、特に注意が必要です。ノロウイルスについてはワクチンがなく、治療も対症療法に限られますので、右記の予防対策を徹底しましょう。

予防のポイント

- ①最も大切なことは丁寧に手を洗うことです。特に食事前、トイレの後、調理前後は、石けんで丁寧に洗いましょう。
- ②便や嘔吐物を処理するときには、衛生面に注意しましょう。感染した人の便や吐物には大量のノロウイルスが含まれています。これらを取り扱うときは使い捨て手袋、エプロン、マスクを着用し、衛生面に十分に注意しましょう。
- ③食品からの感染を防ぎましょう。一般にウイルスは熱に弱く、加熱処理はウイルスの活性を失わせる有効な手段です。

